

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 26 年 8 月 28 日 (2014.8.28)

【公開番号】特開 2012-29555 (P2012-29555A)

【公開日】平成 24 年 2 月 9 日 (2012.2.9)

【年通号数】公開・登録公報 2012-006

【出願番号】特願 2011-159450 (P2011-159450)

【国際特許分類】

H 0 2 K 3/12 (2006.01)

H 0 2 K 1/30 (2006.01)

H 0 2 K 19/10 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 3/12

H 0 2 K 1/30 A

H 0 2 K 19/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 7 月 11 日 (2014.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転子 (200、210) と、

各々が三相励起の第 1 の相に電氣的に結合した 2 組の端子を有する多極多スロット集中巻線 (102) を備える固定子 (100) であって、第 1 の組の端子 (306、308、310) が、前記三相励起の前記第 1 の相のみをつなぐ第 1 の極数 (P1) を有するように前記多極多スロット集中巻線 (102) を構成し、第 2 の組の端子 (316、318) が、前記第 1 の極数 (P1) よりも少ない第 2 の極数 (P2) を有するように前記多極多スロット集中巻線 (102) を構成し、前記第 1 の極数 (P1) が前記第 2 の極数 (P2) の複数の極を含む、固定子とを備える電気機械。

【請求項 2】

前記第 1 の組の端子 (306、308、310) に第 1 の電圧を供給するように構成された第 1 のエネルギー源 (312) と、

前記第 2 の組の端子 (316、318) に第 2 の電圧を同時に供給するように構成された第 2 のエネルギー源 (322) とを備え、

前記第 1 の電圧が前記第 1 の組の端子 (306、308、310) に供給されるときに、前記第 1 の極数 (P1) が励起され、

前記第 2 の電圧が前記第 2 の組の端子 (316、318) に同時に供給されるときに、前記第 1 の極数 (P1) の前記励起に加えて、前記第 2 の極数 (P2) が励起される請求項 1 記載の電気機械。

【請求項 3】

前記第 1 の電圧が、AC 電圧であり、前記第 2 の電圧が、DC 電圧 (316、318) である請求項 2 記載の電気機械。

【請求項 4】

前記第 1 の組の端子 (306、308、310) に供給される前記第 1 の電圧と、前記第

2の組の端子(316、318)に供給される前記第2の電圧とを制御するように構成されたコントローラ(324)をさらに備える請求項2または3に記載の電気機械。

【請求項5】

前記回転子(200、210)が、巻線、磁石、ブラシ、またはスリップリングなしで構築される請求項1乃至4のいずれかに記載の電気機械。

【請求項6】

回転子の極数(P3)が、式

$$P3 = (P1 + P2) / 2$$

によって決定される請求項1乃至5のいずれかに記載の電気機械。

【請求項7】

回転子の極数(P3)は、式

$$P3 = (P1 - P2) / 2$$

によって決定される請求項1乃至5のいずれかに記載の電気機械。

【請求項8】

前記固定子(100)が12個のスロットを備える請求項1乃至7のいずれかに記載の電気機械。

【請求項9】

前記第1の極数(P1)が12であり、前記第2の極数(P2)が10である請求項1乃至8のいずれかに記載の電気機械。